

# 令和4年度 事業計画

## 1. はじめに

新年から急速に感染拡大をした新型コロナウイルス「オミクロン株」による第6波は、ピークを越したように見られるものの新規感染者数は下げ止まりの傾向にあり、人の移動が活発化する4月以降の感染状況を引き続き注視する必要がある。

また、ウクライナ情勢の長期化に伴う物価のさらなる高騰によるセンター運営や市民生活、本市経済への影響についても注意深く見守る必要がある。

本市では、基幹産業である水産業の不振や新型コロナの影響による観光需要が依然として回復してないこともあり、当センターを取り巻く環境はしばらく厳しい状況が続くものと考えられる。さらに会員数や契約金額の伸び悩みに加え、昨年10月からは消費税のインボイス制度の適格請求書発行事業者の登録申請がスタートし、シルバー事業の先行き不透明感が一層強まっている。

このような状況下であるが、センターの安定した事業運営を継続するためには、まずは組織の基盤であり、根幹をなす会員の確保が重要である。さらに持続可能なセンター運営をするためにはバランスの取れた会員の年齢構成にする必要がある。

また、仕事の依頼は多いが会員不足ですぐに対応できない主力業務である手抜き除草、剪定等の外仕事や依頼が増加傾向にある産後ケア事業に対応できる会員の確保と育成が急務となっている。

派遣事業については、新施設完成に伴う契約が見込まれる一方で、事業の終了や新型コロナの収束が見通せないこともあり、件数・契約金額とも減少を見込んでいます。

当センターでは、本年2月に配分金額を改定したが、令和5年10月から段階的に実施される消費税のインボイス制度に対応するため、事務費率の引上げを検討することとしており、会員には発注者に満足してもらえよう、これまで以上に「効率的な作業」と「質の向上」が求められる。

安全就業については、毎年多額の賠償事故が発生している業務の一部を見直すほか、引き続き、新型コロナ感染対策と熱中症対策に取り組む。また、新たに4月から道路交通法施行規則の改正に伴い、飲酒運転根絶に向けた取り組みを強化する。

以上のように、当センターを取り巻く環境は、かつてない厳しい状況にあることを役職員・会員が認識し、理事長以下、一丸となって意識改革をしながら、令和の時代に対応する持続可能な魅力あるシルバー人材センターづくりに取り組む。

## 2. 基本方針

センターの更なる発展と持続可能な事業運営を行うため、引き続き、重点項目と数値目標を設定した第2次中期基本計画（令和3年度～令和7年度）に基づき取り組むほか、時代の変化に対応した組織・財政運営を行う。

## ■ 第2次中期基本計画

### <重点項目>

- (1) 会員数の拡大
- (2) 就業機会の拡大
- (3) 安全・適正就業の徹底
- (4) 持続可能な組織運営・財政基盤の確立
- (5) 地域貢献活動

### <数値目標>

区 分	1 年目 (R 3)	2 年目 (R 4)	3 年目 (R 5)	4 年目 (R 6)	5 年目 (R 7)
正会員数	172 人	174 人	176 人	178 人	180 人
粗入会率	1.33%	1.34%	1.36%	1.37%	1.40%
就業実人員	155 人	157 人	159 人	161 人	162 人
就業率	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
受注件数	2,030 件	2,035 件	2,040 件	2,045 件	2,050 件
契約金額	69,000 千円	69,250 千円	69,500 千円	69,750 千円	70,000 千円

## 3. 事業実施計画（具体的施策）

### (1) 会員数の拡大

会員拡大は当センターの最重点項目である。会員拡大に特効薬はないので、基本的な取り組みを徹底しながら、出来ることを役職員・会員が一丸となって取り組む。

会員の年齢構成を見てみると、70歳代が一番多く横ばいで推移し、80歳以上が増加傾向にある。一方、平成19年度まで一番多かった60歳代の会員数は激減し、会員の高年齢化が進んでいることから、持続可能なセンター運営を行うため、60歳代の会員の確保と拡大の余地が大きい女性会員の入会を重点的に取り組む。

#### ○ 入会促進の取り組み

- ・ 入会説明会の随時開催
- ・ 会員の口コミによる勧誘
- ・ ホームページの充実、市報への折り込みチラシ、イベント会場でのリーフレットの配布
- ・ 市、商工会議所など関係団体等の連携強化
- ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した広報活動の実施

#### ○ 講習会等の実施

- ・ センター主催の講習会のほか、鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した講習会等の実施

#### ○ 女性会員入会の取り組み

- ・ 女性会員の関心が高い分野の就業機会の確保

## (2) 就業機会の拡大

新型コロナの収束が見通せないことから仕事の依頼や求人を控える動きが見られるが、収束後を見据え「人生100年時代」の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、自らの能力や希望に応じた就業機会を享受できるように取り組む。

- 会員、役職員による啓発活動の推進
  - ・ 各種イベント等でリーフレットを配布するほか、会員による口コミの実施
  - ・ 女性会員の関心が高い清掃、産後ケア事業などの職種の開拓
- 行政機関や事業所との連携強化
  - ・ 公共事業の受注確保・拡大
  - ・ 派遣事業所等への訪問
  - ・ 人手不足分野の就業開拓
- ホームページの活用
  - ・ ホームページを活用したシルバー事業についての情報発信
- 広報活動の強化
  - ・ 市報への折り込みチラシ等
  - ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した就業開拓や広報活動

## (3) 安全・適正就業の徹底

シルバー事業を地域社会に浸透させ、発展させていくためには、安全・適正就業を徹底することが最も重要である。そのためには「安全はすべてに優先する」を基本とし、会員一人ひとりの自覚と安全意識の高揚を図り、就業時及び就業途上の事故防止に努め、傷害・損害賠償事故ゼロを目指す。また、シルバー業務の前提となる会員の健康管理を指導する。

適正就業については、会員の働き方に関する重要な指針であり、公益法人として法令順守の立場から、鳥取県シルバー人材センター連合会の指導を受けながら、「適正就業ガイドライン」に基づき公平・公正に推進する。

- 安全・適正就業推進委員会の機能強化
  - ・ 安全・適正就業推進委員会を中心に安全対策や事故防止策、改善策を検討
  - ・ 事故事例の共有化
  - ・ 安全就業月間の設定や安全パトロールの実施
- 安全就業と健康管理
  - ・ 会員の健康診断の奨励
  - ・ 安全就業基準の順守
  - ・ 新型コロナウイルス感染症対策の周知徹底
  - ・ 熱中症予防の注意喚起
  - ・ 会員の安全意識の徹底（自分の安全は、自分で守る）
  - ・ 交通安全の徹底と飲酒運転根絶のためアルコール検知器による確認（新）
  - ・ 市からの道路除草作業の一部見直し（新）

- ・ その他（安全標語、配分金明細書やチラシ等による啓発）
- 安全講習会等の実施
  - ・ 班会議で安全就業についての説明
  - ・ 鳥取県シルバー人材センター連合会と連携した安全講習会の実施
- 適正就業ガイドラインに沿った事業運営
  - ・ 適正就業ガイドラインを順守し、会員、発注者に適正就業を周知
  - ・ 会員の適正就業への意識改革

#### （４）持続可能な組織運営・財政基盤の確立

シルバー事業を取り巻く環境の不透明感が増している中、事業運営に支障をきたさないよう状況に応じた組織体制の見直しや財政運営を行う。

- 会員による事業運営の推進
  - ・ 会員の自主性、自発性による組織の運営や就業開拓
- 法改正への適切な対応
  - ・ シルバー派遣事業など労働関係法令の適切な対応
  - ・ 消費税の適格請求書保存方式（インボイス制度）の登録（新）
- 補助金の確保・拡大
  - ・ 国、市に対し、補助金の継続的な確保・拡大を要望
- 事業量の確保
  - ・ 市、国、県、事業所等に事業量の確保・拡大を要望
- 自主財源の確保
  - ・ 就業機会の拡大や配分金の改定による事務手数料や派遣手数料の確保
  - ・ インボイス制度に対応するため、事務費率の見直し（新）
  - ・ 物品（材料品）の管理及びリース契約の再検討（新）
  - ・ 組織体制の見直しや経費節減
- 未収金対策
  - ・ 未収金が生じないよう早めの対応
  - ・ 法的手続きの検討（新）
- 職員の資質向上
  - ・ 職員の事務能力向上と意識改革
  - ・ チェック機能の強化と事務処理の効率化
  - ・ 簡素で効率的な事業運営

#### （５）地域貢献活動

高齢者が地域社会の一員として誇りをもって健康で生きがいのある生活をするために、地域社会に貢献を目的としたボランティア活動を実施する。